

令和7年度

＝高志の国文学館 文学講座＝

各界でご活躍中の方を講師に招き、富山の「いま・むかし」について学びます。

富山を知る・学ぶ

受講料
無料

第1回

2025 **10.13** (月・祝)
池田弥三郎の「民俗学」
＊常設展クロズアップコーナー関連講座

元洗足学園
魚津短期大学教授
元京都産業大学客員教授
友尾 豊氏



第2回

2025 **11.02** (日)
万葉を楽しむ
＊常設展万葉コーナー関連講座

奈良女子大学名誉教授
高岡市万葉歴史館
名誉館長
坂本 信幸氏



第3回

2025 **11.30** (日)
久世光彦の冒険
一喜劇・ドキュメンタリー・向田邦子
＊常設展生誕90年久世光彦コーナー関連講座

演劇研究者
富山めぐみ製薬株式会社
代表取締役
笹山 敬輔氏



第4回

2025 **12.07** (日)
二人の越境者
ヨネ・ノグチと翁久允
ーアメリカとインドをめぐって
＊常設展クロズアップコーナー関連講座

富山大学学術研究部
教養教育学系・准教授
水野 真理子氏



第5回

2026 **02.07** (土)
小泉セツが語った
物語のゆくえ
ー現在(いま)に生きる怪談
＊常設展特別コレクション室関連講座

小泉八雲記念館館長
小泉 凡氏



時間 14:00 - 15:30
場所 高志の国文学館 研修室101
定員 72名(定員に達し次第、締切)

申込方法 WEB申込フォームまたは受講申込書に必要事項を記入し、
高志の国文学館まで郵送もしくはお持ちください。
(お電話でのお申込みも受け付けます。)

※受講票などは送付いたしません。(定員に達し、受講いただけない場合のみご連絡します。)

その他 3講座以上受講された方には、希望により県民カレッジの単位(5単位)が認定されます。



申込フォーム

問合せ・申込み先

高志の国文学館

〒930-0095 富山市舟橋南町 2-22

TEL 076-431-5492

【主催】高志の国文学館

高志の国文学館では、X、Instagram、Facebook、HPで
最新情報を発信しています。ぜひフォローしてください。



X



Instagram



Facebook



HP

心になっぷり、栄養補給!



職員室井 滋

受講申込書

ふりがな氏名	
連絡先	TEL: - - メールアドレス:
住所	(県民カレッジ単位希望者のみ記載してください) 〒

受講を希望する講座に○をつけてください(複数可)

	日	講演題	講 師	講 座 内 容
1 ☐	2025 10/13 (月・祝)	池田弥三郎の 「民俗学」	ともお ゆたか 友尾 豊氏 元洗足学園 魚津短期大学教授 元京都産業大学 客員教授	国文学者であり民俗学者でもあった池田弥三郎の学問は、柳田国男が創始した、いわゆる「日本民俗学」とのあいだに微妙なズレがあります。東京の真ん中・銀座で生まれ育ったという池田の履歴も、その要因の一つであると考えられます。いわば、「都会育ちの民俗学」とも言うべき池田弥三郎の学問についてお話しします。 *常設展クローズアップコーナー関連講座
2 ☐	2025 11/2 (日)	万葉を楽しむ	さかもと のぶゆき 坂本 信幸氏 奈良女子大学 名誉教授 高岡市万葉歴史館 名誉館長	万葉集のさまざまな楽しみ方を紹介し、万葉集に十五例見られる「楽し」という形容詞を詠み込んだ歌について考察します。ことには、大伴家持が越中国で「興に依りて」詠んだと記されている、天平勝宝二年三月二十七日の作について詳しく考えます。 *常設展万葉コーナー関連講座
3 ☐	2025 11/30 (日)	久世光彦の冒険 -喜劇・ドキュメンタリー ・向田邦子	ささやま けいすけ 笹山 敬輔氏 演劇研究者 富山めぐみ製薬株式会社 代表取締役	1970年代、テレビマンたちは「テレビとは何か?」を問い続けていました。演出家・久世光彦が手掛けた『時間ですよ』や『寺内貫太郎一家』は、その実践のひとつのかたちでした。本講座では、テレビ史のなかの久世光彦について考えてみたいと思います。また、伊東四朗さんや堺正章さんから直接伺った、久世光彦の横顔についてもお話しします。 *常設展生誕90年久世光彦コーナー関連講座
4 ☐	2025 12/7 (日)	二人の越境者 ヨネ・ノグチと 翁久允 -アメリカと インドをめぐって	みずの まりこ 水野 真理子氏 富山大学学術研究部 教養教育学系・准教授	ヨネ・ノグチと翁久允は日本から海外に渡った越境者としての経験を持ち、特徴的な思想や文学を生み出しました。ノグチはアメリカ、イギリスで英詩や小説を出版し、欧米の文学界で注目される国際派詩人として、翁も17年間のアメリカ滞在時に移民地文芸を創作し、帰国後は国際的な視野を持つ異色の作家、文化人として活躍しました。彼らの接点や共通する思想などを、アメリカ、インドでの経験を軸として検討します。 *常設展クローズアップコーナー関連講座
5 ☐	2026 2/7 (土)	小泉セツが 語った 物語のゆくえ -現在(いま)に生きる怪談	こいずみ ぼん 小泉 凡氏 小泉八雲記念館館長	連続テレビ小説「ばけばけ」の主人公のモデル、小泉セツは、再話文学のネタ本探しから、語りと推敲作業まで、八雲の創作活動に深く関わりました。セツが親しんだ松江の民間伝承は、「雪女」「勝五郎の再生」「お貞のはなし」「力ばか」「青柳」など晩年の名作を生み出すきっかけをつくります。再話作品は、さらに新しい芸術表現や都市伝説を生み、ときに医療資源にも。生き続ける「怪談」の意味を考えます。 *常設展特別コレクション室関連講座

※取得した個人情報は、本講座以外の目的で使用することはありません。

高志の国文学館 〒930-0095 富山市舟橋南町2-22 TEL 076-431-5492

※お電話でのお申込みも受け付けます。